



## ソフトタッチ N RX01 Y3058

### 800メジュールP

ソフトタッチ N RX01 インキは、しっとりとしたなめらかな触感を実現したスクリーンインキです。印刷塗膜の柔らかさを維持しながら強靱性も併せ持つ、優れた表面性能のインキです。各種プラスチック材料へパターン印刷をすることで、塗装との差別化を図ることが可能です。

#### タイプ

特殊樹脂  
2液硬化型

#### 用途

ポリカーボネート樹脂、プラスチック塗装品等への印刷に最適です。  
ガラス、金属及びアクリル材料には密着しません。

#### 特徴

しっとりとした肌触りで、特にラバー感が強めの半透過マット調仕上がりとなります。  
耐加水分解性に優れます。

#### 硬化剤混合

ソフトタッチ N RX01 Y3058 800メジュールP :ソフトタッチ N RX01 硬化剤 P  
=100 : 8

ポットライフは常温で約 4~5 時間です。

※素材により密着性が弱い場合、硬化剤添加量を増やすことで密着性が向上します（主剤：硬化剤=100：15程度）。ただし、その他諸物性に差異を生じるケースがあるため、必ず事前にご確認をお願いいたします。

#### 稀釈溶剤

標準溶剤 T-900

#### 洗浄溶剤

T-15/ T-31

#### 印刷

スクリーンメッシュ 350メッシュ程度をお勧めします。  
その他の低メッシュでも印刷は可能ですが、風合いが劣ります。

#### 乾燥

60°C×2時間 / 80°C×1時間以上

素材および印刷条件等により乾燥が変化しますので上記条件は目安とお考えください。  
強制乾燥後、養生時間を設けてください。（各種塗膜物性が得られるまで最低3日はかかります。）

#### その他

- ・印刷時に泡が発生する場合は、Care13を1%以内で添加してください。
- ・塗工方法や使用版、乾燥条件等の印刷方法の違いにより、意匠性（透明感）やソフトフィール性に差異を生じる恐れがあります。
- ・事前に密着性のご確認をお願いいたします。



・製品仕様は改良の為、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

**参考資料** (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

印刷被膜性能表

試験項目	方法・判定基準	Y3058 800 メジューム P 主剤:硬化剤=100:8
硬さ	三菱ユニ、荷重 750g、傷法。	HB
密着性	1mm 角基盤目セロテープ剥離試験。 (10×10)	100/100
爪引っかき	爪による引っかき。	剥離なし
耐湿付着性	50℃×95%×240 時間。その後室温で直ちに(10 分以内)密着性試験実施。	剥離なし
耐衝撃性	デュポン式衝撃試験方法。300gのおもりを 20cmの高さから落下。3 回繰り返して割れ、剥がれのないこと。	割れ・剥離なし
耐薬品変色性※1	耐水 薬品:蒸留水 60±1℃×4hr 著しい外見変化・質感変化なきこと。	外観・質感変化なし
	耐アルカリ 0.1N 水酸化ナトリウム水溶液 60±1℃×4hr 著しい外見変化・質感変化なきこと。	外観・質感変化なし
	耐酸 0.1N 硫酸水溶液 室温×3hr 著しい外見変化・質感変化なきこと。	外観・質感変化なし
耐揮発油性	n-ヘプタン:n-ヘキサン=1:1 混合液 室温×3hr しわ、割れ、ふくれ、剥がれがないこと。	外観変化・剥離なし
耐熱老化性 80℃	400hr 後、著しい触感・外観変化(亀裂、剥がれ、プリスタ等)のないこと。	外観・質感変化なし
耐熱老化性 100℃		

[試験条件]

インキ : ソフトタッチ N RX01 Y3058 800 メジューム P  
硬化剤 : ソフトタッチ N RX01 硬化剤 P  
主剤 : 硬化剤=100 : 8

素材 : PC 板  
スクリーン : テトロン 350 メッシュ  
乾燥 : 80℃×30 分+常乾 7 日

※1 試験片の上に内径約 3 センチのポリエチレン製円筒を置き強く密着させ、その開口部に薬品を約 5ml 滴下する。その後樹脂板で開口部にフタをし、所定温度に規定時間放置。